



咖啡所
— コメダ 咖啡店。

株式会社 コメダ

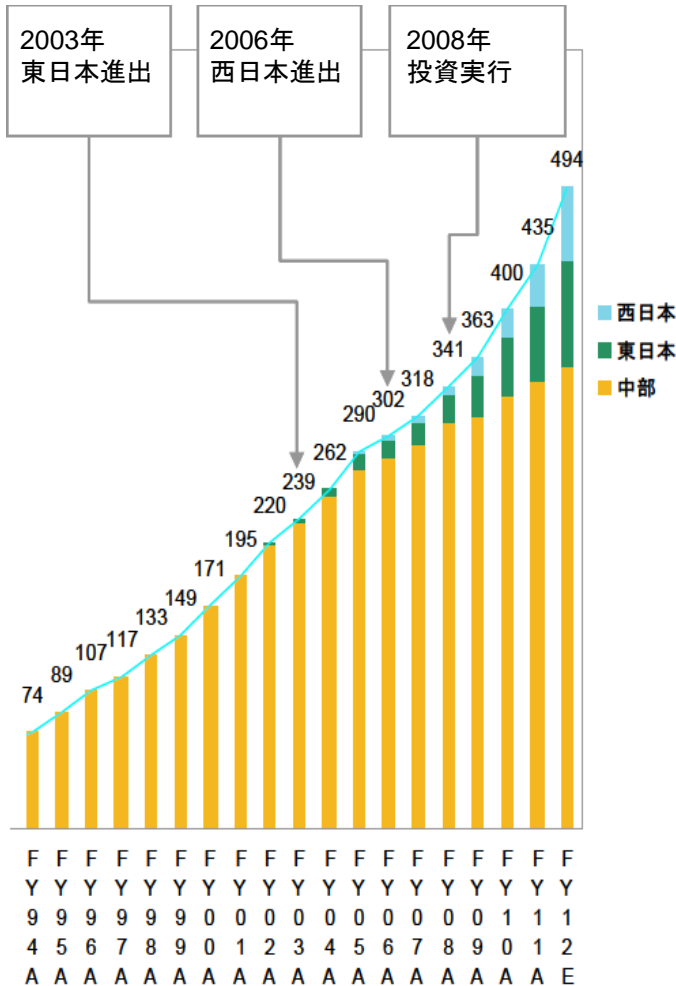
エグゼクティブ・サマリー

- 名古屋発の喫茶店チェーンであるコマダへの投資は、2008年4月創業者から譲り受ける形で、創業者加藤太郎氏と株式会社ポッカとの共同で実行。
- 投資後、新経営体制の構築、経営基盤の拡充および経営管理体制の充実、新規出店体制の強化、コマダブランドの強化のためのマーケティング施策の実施、出店戦略立案並びに出店基準策定、店舗管理体制の拡充など幅広い領域において経営支援活動を行い、企業価値向上に取り組んだ。2011年10月にはパンの納入元であるフランスパンを買収し、パンの内製化も実行。それによって7億円以上のEBITDAの上乗せを実現。
- 投資期間を通じて、売上高およびEBITDAが2倍強に拡大し、投資実行時点での見込みを大幅に上回る成長を実現。店舗数も318から500弱へと大幅に増加し、全国展開する業界3位の喫茶店チェーンとしての地位を確立。

投資実行後の経営支援の成果

経営管理体制の強化とともに新規出店を強化し、店舗数の増加を加速した。特に、投資実行時から想定をしていた、東日本・西日本への出店加速が店舗数増加の要因となった

店舗数の推移 (件)



投資実行後の経営支援内容

- 投資後、創業者経営の企業から、新規出店の更なる加速と既存店の競争力向上が可能な企業へと変革するために新社長を招聘し、新経営陣を組成
- 本部組織も大幅に増強し、経営管理体制の強化を図り、株式上場も実現可能なレベルまへの体制整備を実施
- 新規出店に関する組織も大幅に増強し、投資実行時点から想定をしていた東日本・西日本を中心とする新規出店を加速し、大幅な店舗増およびそれに伴う売上・利益の成長を実現した
- 主要取引先の一つであるパン製造会社を2011年10月に100%子会社化。本追加買収の実現により主要食材であるパンの内製化を実現。コマダの更なる企業価値向上に資する結果となった